

本調査結果は、総務省の「令和6年度 無線LANのセキュリティ確保のためのガイドライン等周知啓発コンテンツ策定検討に関する調査研究の請負」事業（受託者：NRIセキュアテクノロジーズ株式会社）により作成したものを、総務省で一部加工の上、公表するものです。

本資料に関する問い合わせ先等は次のページを確認願います。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/wi-fi/

**令和6年度
無線LAN利用者実態調査**

**令和7年3月31日
NRIセキュアテクノロジーズ株式会社**

マクロミル
調査モニタ
(約220万人)

プレ調査 (スクリーニング調査)

15歳～92歳
のモニタ
(1万ss)

本調査

プレ調査回答者から年代×エリアで割り付け

15歳～19歳	200	200	200	200	200	200	200
20歳～29歳	210	210	210	210	210	210	210
30歳～39歳	210	210	210	210	210	210	210
40歳～49歳	210	210	210	210	210	210	210
50歳～59歳	210	210	210	210	210	210	210
60歳～	210	210	210	210	210	210	210

■ 中国 ■ 中部 ■ 九州, 沖縄 ■ 北海道 ■ 四国 ■ 東北 ■ 近畿 ■ 関東

無線LAN利用者実態調査①

2

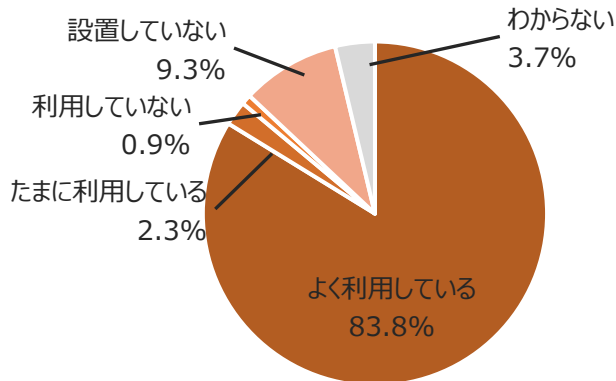
➤ 無線LANに対するセキュリティ意識等を把握するための調査をWebアンケートにより実施。

期間:2024.11.18-21 調査数:10,000(うち無線LAN利用者1,000をスクリーニング(年代・エリアに偏りが無いように割付))

自宅に設置する無線LAN (その1)

自宅無線LANの利用有無

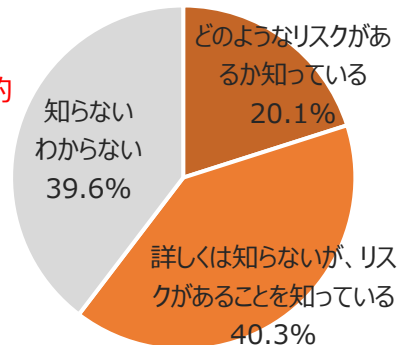
(n=10,000;全員)



無線LAN利用時におけるセキュリティ上のリスク認知

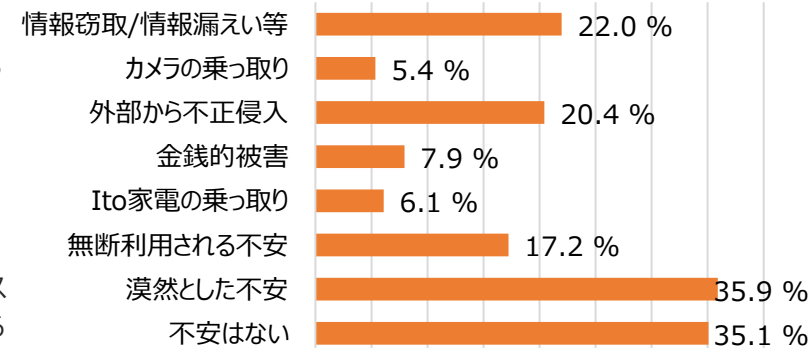
(n=10,000;全員)

リスク自体は比較的認知されている。どのようなリスクがあるかを知る人は2割程度である。



自宅無線LANでのセキュリティの不安

(n=969;自宅無線LANの利用者)

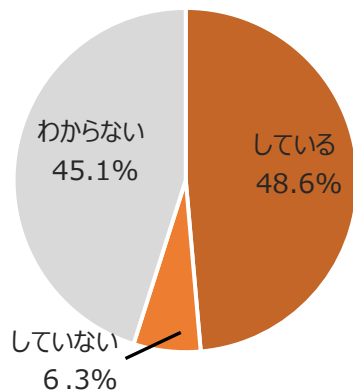


情報窃取や不正侵入、無断利用等の具体的な不安 (複数回答可)
の他、多くのユーザは漠然とした不安を抱えている。

自宅無線LANの暗号化

(n=969;自宅無線LANの利用者)

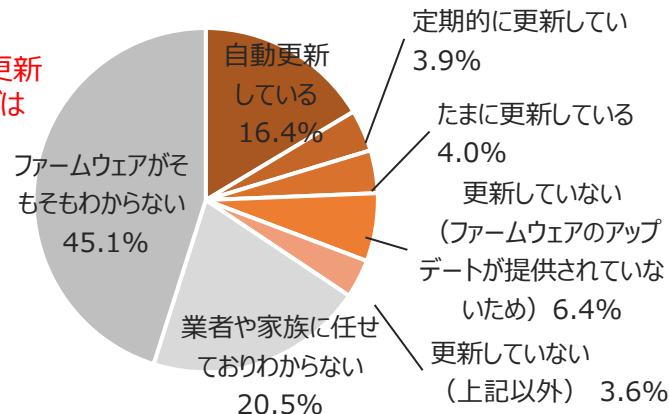
暗号化している利用者が49%程度にとどまり、半分以上は「していない」、「わからない」と回答している。



自宅無線LANのファームウェア更新

(n=969;自宅無線LANの利用者)

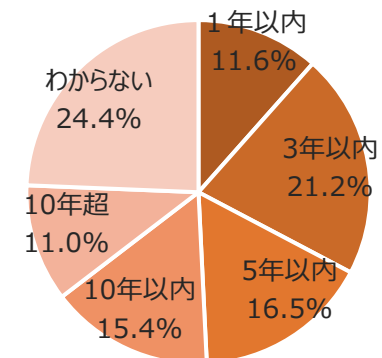
定期的にファームウェア更新しているユーザは20%程度に留まる。



自宅無線LANの購入時期

(n=969;自宅無線LANの利用者)

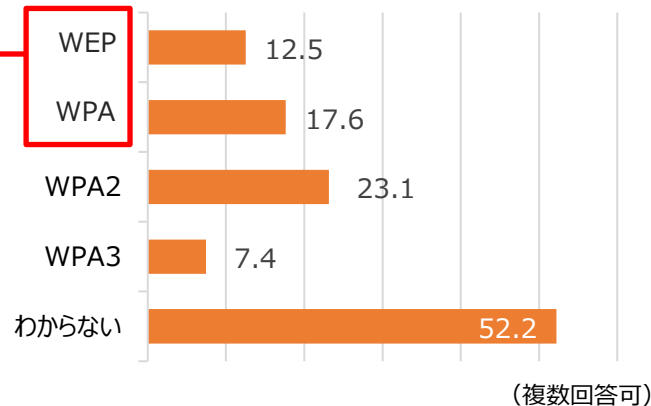
5年以上継続利用しているユーザ、及び購入時期が不明であるユーザが合わせて半数強となっている。



自宅に設置する無線LAN（その2）

自宅無線LANのセキュリティ方式

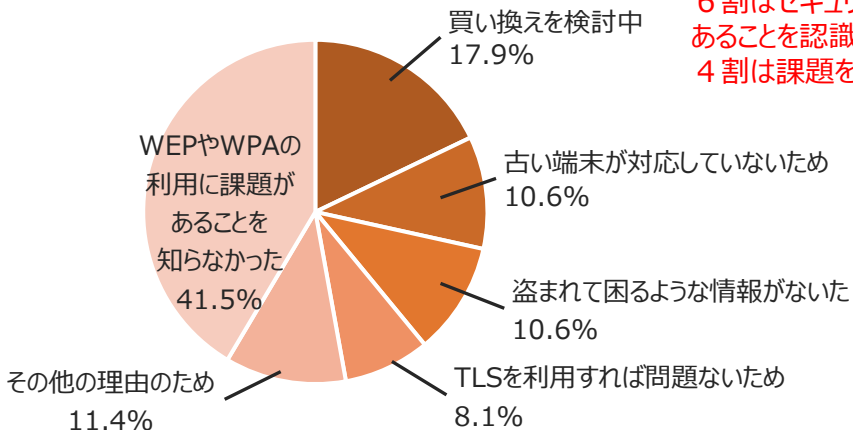
(n=471：自宅無線LANを暗号化している利用者)



WEPやWPAを利用する人が3割おり
方式を把握していない人も半数以上存在。

WEP・WPAを利用する理由

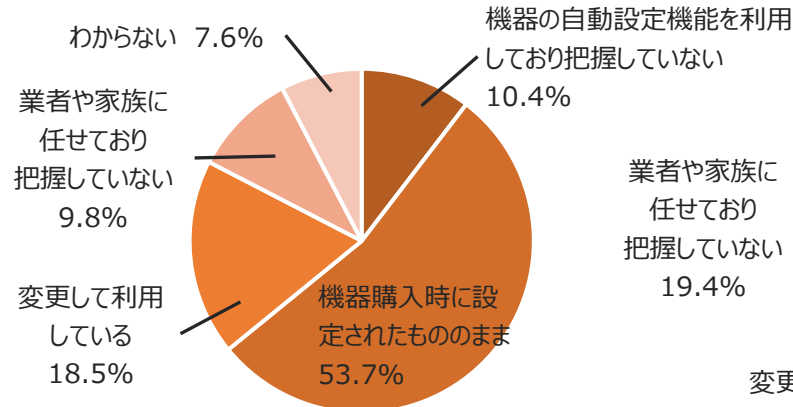
(n=123：自宅無線LANでWEP・WPAを用いている利用者)



6割はセキュリティ上の課題があることを認識しつつ継続利用。
4割は課題を認識していない。

自宅無線LANの暗号化パスワード

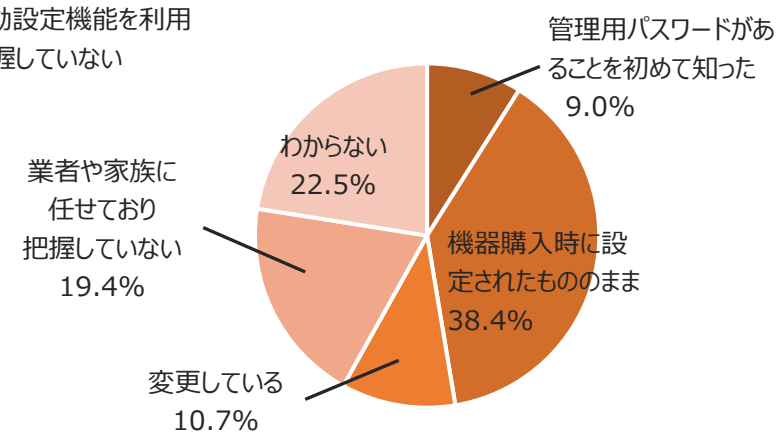
(n=471：自宅無線LANを暗号化している利用者)



購入時設定のまま利用している人が多数あり、自ら変更している人は2割を下回る。

自宅無線LANの管理用パスワード

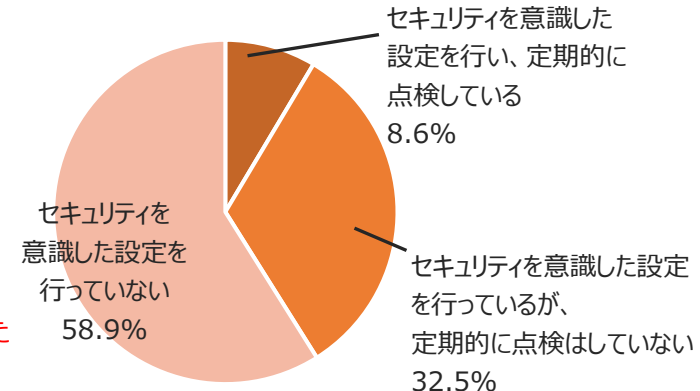
(n=969：自宅での無線LAN利用者)



購入時設定のまま利用している人が多数
1割は管理用パスワードの認識がない。

ガイドラインなどを参考にしたセキュリティを意識した設定

(n=969：自宅での無線LAN利用者)



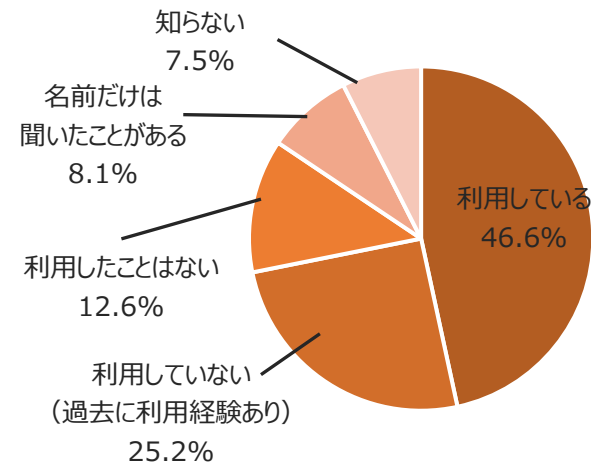
6割はセキュリティを意識した設定を行っていない。

無線LAN利用者実態調査③

公衆無線LAN利用（その1）

公衆無線LANの利用有無

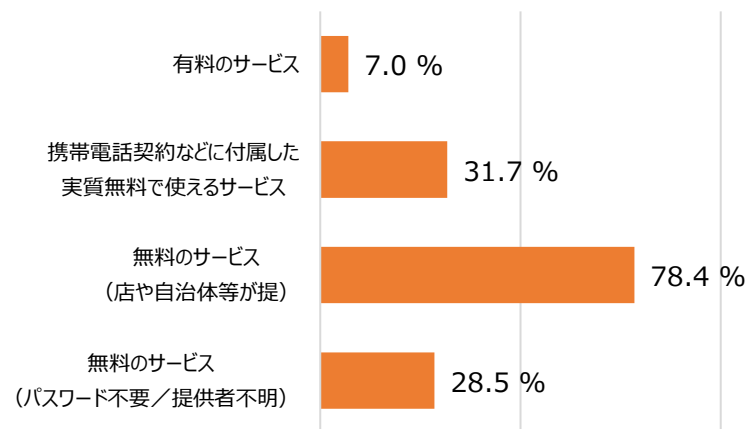
(n=10000：全員)



公衆無線LANの認知度は高く9割程度であるが、実際に利用している人はその半数程度に留まる。

公衆無線LANの利用種別

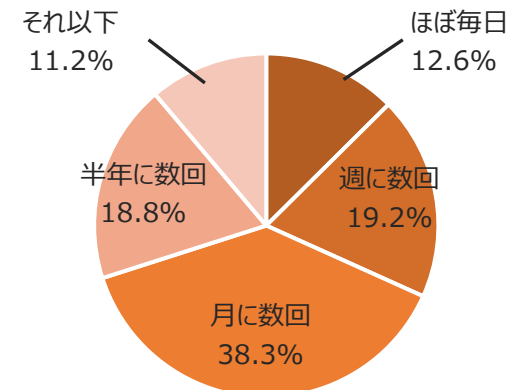
(n=501：公衆無線LANの利用者)



公衆無線LANを利用するユーザは無料のサービスが最も多く、8割程度。

公衆無線LANの利用頻度

(n=501：公衆無線LANの利用者)

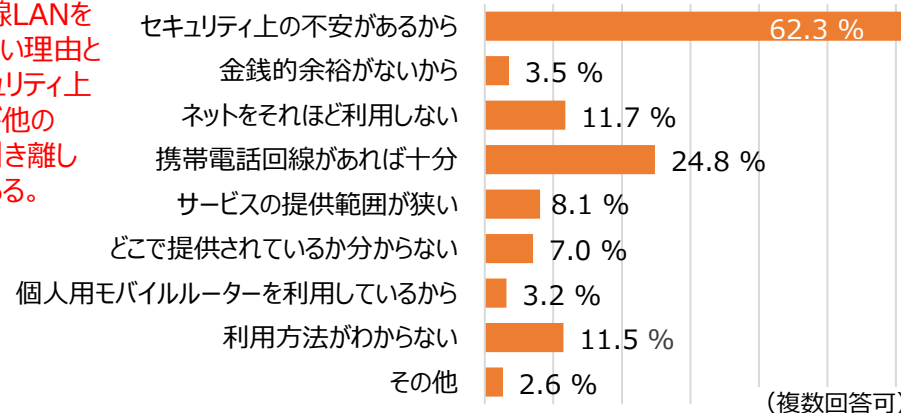


公衆無線LANを利用するユーザの7割は月に数回以上利用している。

公衆無線LANを利用していない理由

(n=3779：未利用者)

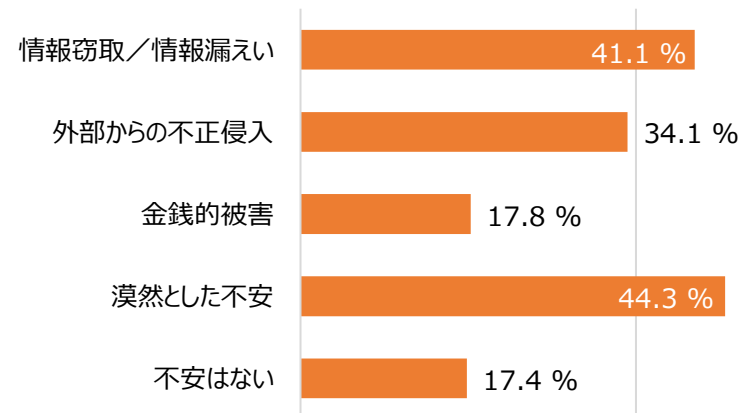
公衆無線LANを利用しない理由としてセキュリティ上の不安が他の理由を引き離しトップである。



(複数回答可)

公衆無線LANでのセキュリティ上の不安

(n=501：公衆無線LANの利用者)

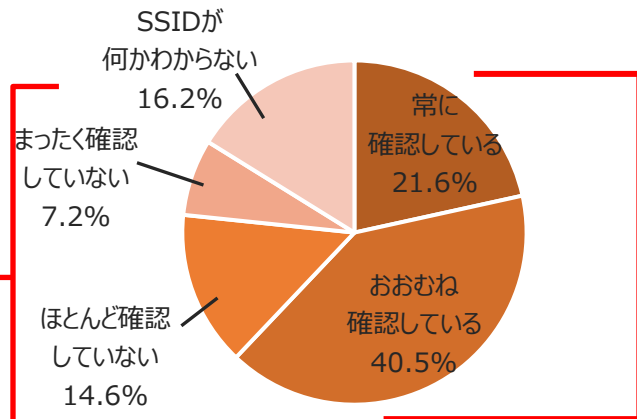


公衆無線LANの利用者においても9割弱がセキュリティ上の不安を感じており、情報窃取、不正侵入がとくに多い。

公衆無線LAN利用（その2：SSID確認）

公衆無線LAN利用時のSSID確認

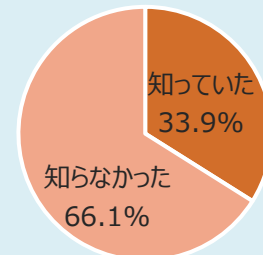
(n=501：公衆無線LANの利用者)



公衆無線LANの利用時に
SSIDを確認している人は6割程度

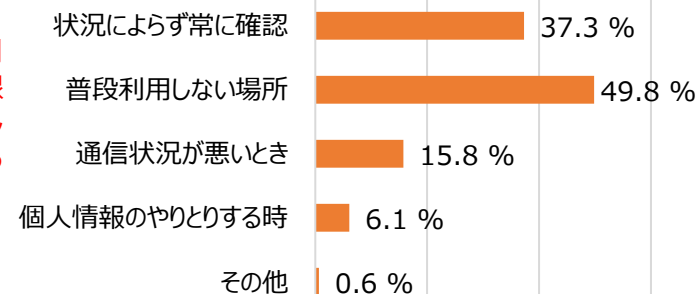
偽アクセスポイント問題 の認知状況

(n=501：公衆無線LANの利用者)



公衆無線LANのSSIDの確認場面

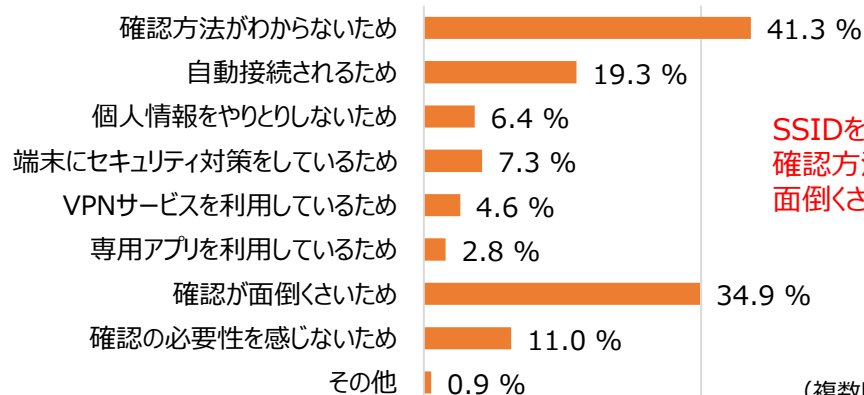
(n=311：公衆無線LANの利用者でSSIDを確認している者)



(複数回答可)

公衆無線LANのSSIDを確認しない理由

(n=109：公衆無線LANの利用者でSSIDを確認していない者)

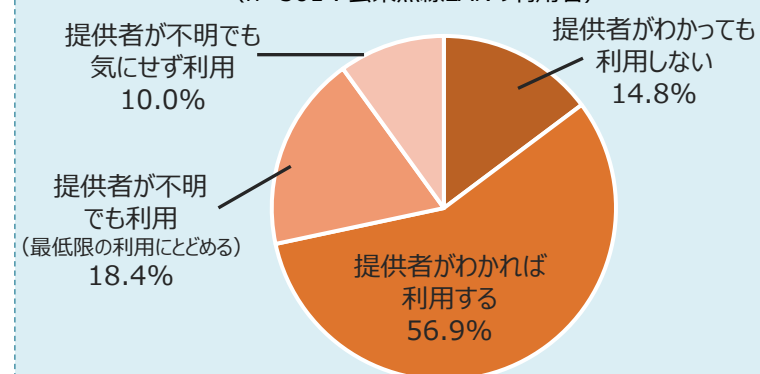


SSIDを確認していない理由は、
確認方法がわからないことや
面倒くさいと感じることにある

(複数回答可)

パスワード不要の無線LANを 見つけた際の利用有無

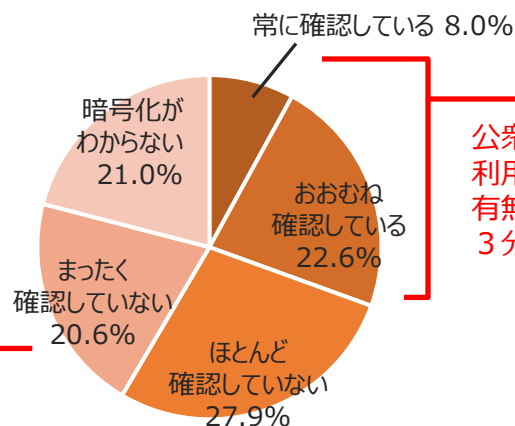
(n=501：公衆無線LANの利用者)



公衆無線LAN利用（その3：暗号化確認）

公衆無線LAN利用時の暗号化確認

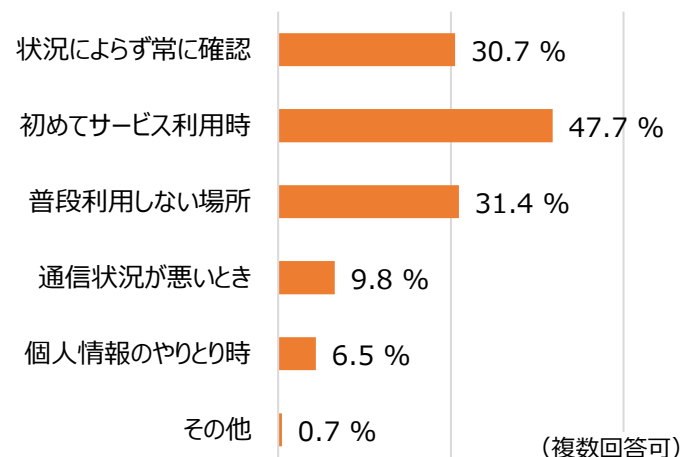
(n=501：公衆無線LANの利用者)



公衆無線LANの利用時に暗号化の有無を確認しているのは3分の1程度である。

公衆無線LANの暗号化の確認場面

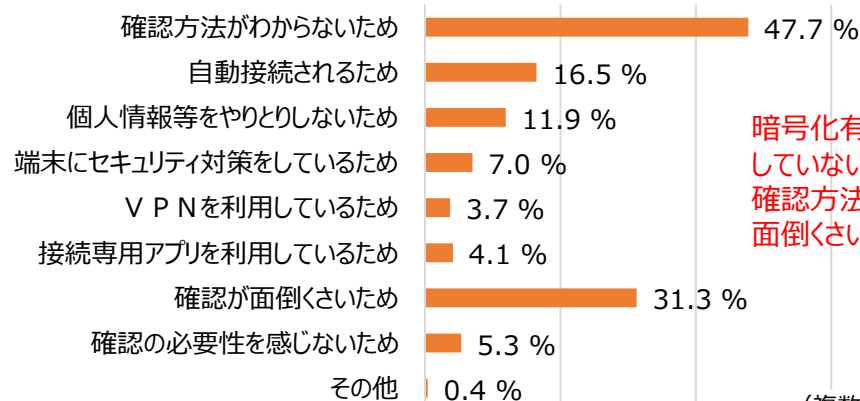
(n=153：公衆無線LANの利用者で暗号化確認をしている者)



初めて利用するときに確認するユーザが半数近く。
次いで、普段利用しない場所のときに確認するユーザが3割程度。

公衆無線LANの暗号化を確認しない理由

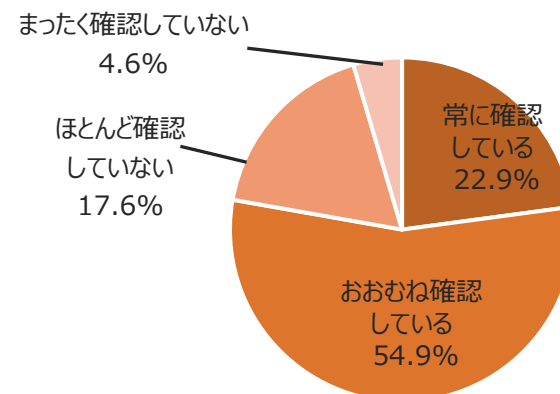
(n=243：公衆無線LANの利用者で暗号化確認をしていない者)



暗号化有無を確認していない理由は、確認方法がわからないことや面倒くさいと覚えることがある。

暗号化有無に加えて方式(WPA等)確認

(n=153：公衆無線LANの利用者で暗号化確認をしている者)



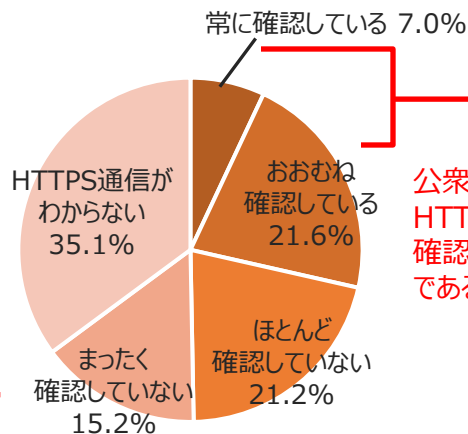
暗号化有無を確認している利用者のうち8割近くが、暗号化方式まで確認している。

公衆無線LAN利用（その4：HTTPS通信確認）

公衆無線LAN利用時のHTTPS通信確認

(n=501：公衆無線LANの利用者)

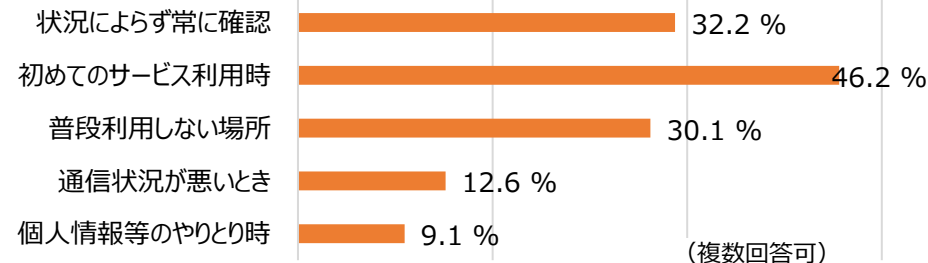
3人に1人は、
HTTPS通信が何か
わかっていない。



公衆無線LANの利用時に
HTTPS通信であるかを
確認しているのは3割程度
である。

公衆無線LANのHTTPS通信の確認場面

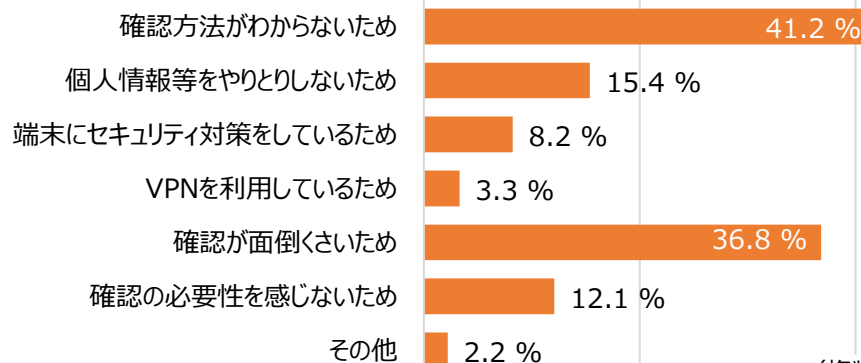
(n=143：公衆無線LANの利用者でHTTPS通信を確認している者)



初めて利用するときに確認するユーザが半数近く存在。
一方、状況によらず常に確認するユーザも3割強存在。

公衆無線LANのHTTPS通信を確認しない理由

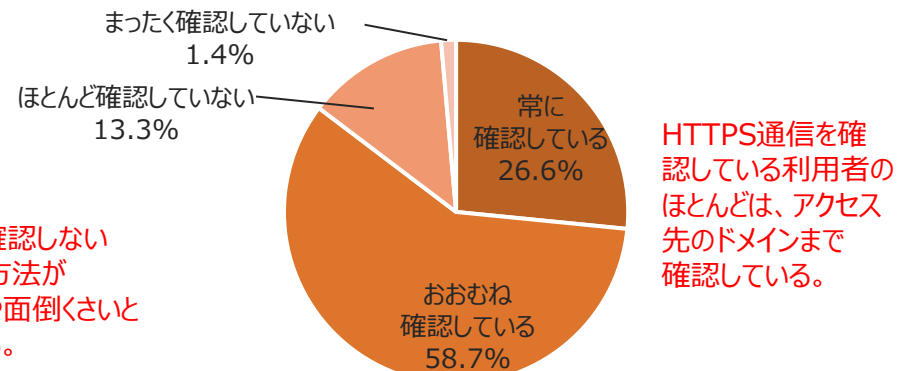
(n=182：公衆無線LANの利用者でHTTPS通信を確認していない者)



HTTP通信を確認しない
理由は、確認方法が
わからないことや面倒くさいと
感じることにある。

HTTPS通信に加えてドメイン確認

(n=143：公衆無線LANの利用者でHTTPS通信を確認している者)



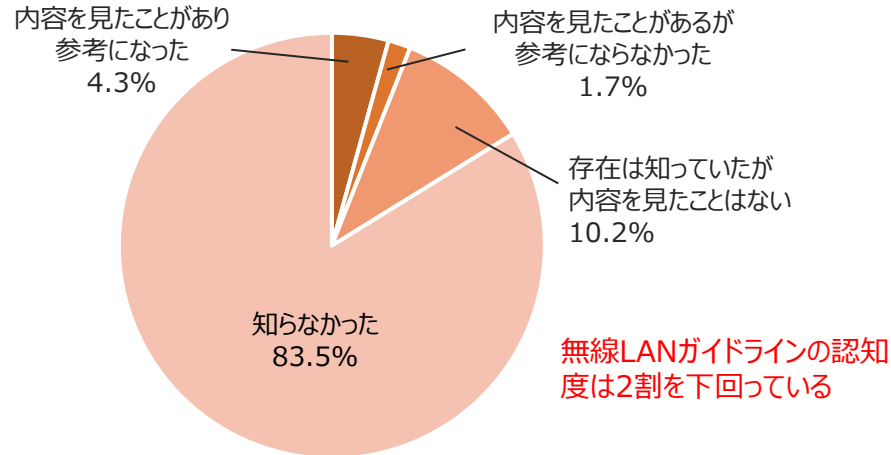
HTTPS通信を確
認している利用者の
ほとんどは、アクセス
先のドメインまで
確認している。

(複数回答可)

無線LANセキュリティ周知啓発

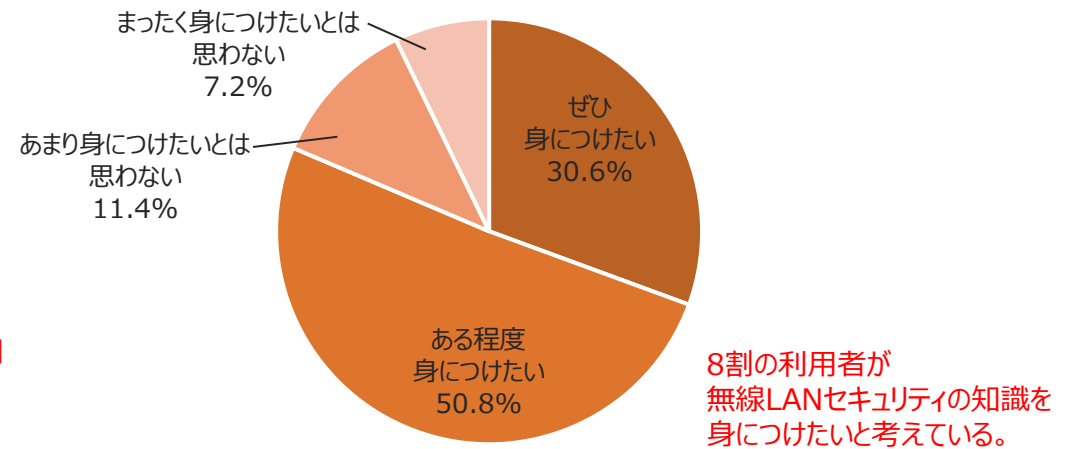
無線LANセキュリティガイドライン※の認知状況

(n=1,000：無線LANの利用者) ※Wi-Fi利用者向け簡易マニュアル



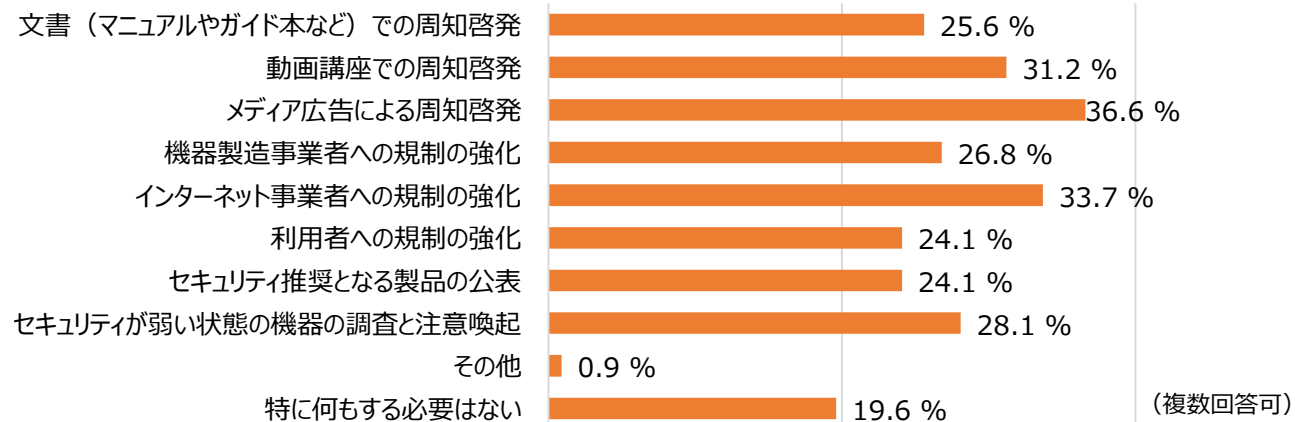
無線LANセキュリティの知識

(n=1,000：無線LANの利用者)



無線LANセキュリティ確保のため国が進めるべき取組

(n=1,000：無線LANの利用者)



いずれも2割以上のユーザが要望を挙げており、多方面での国の取組が期待されている